

《2014年(平成26年)度入学生用》

## 工学部第1部

### 授業科目履修課程表

#### ◆教育課程◆

- |                 |             |   |
|-----------------|-------------|---|
| 【第Ⅰ群】<br>総合教育科目 | a) 総合文化科目   | 〔第1類 人間の探究, 第2類 社会の科学, 第3類 世界と日本, 第4類 芸術と表現, 第5類 科学と文明〕 |
|                 | b) 外国語科目    | 〔英語科目, ドイツ語科目, フランス語科目, 中国語科目, ロシア語科目〕                  |
|                 | c) 保健体育科目   |   |
|                 | d) 自由研究科目   |   |
|                 | e) キャリア支援科目 |   |
| 【第Ⅱ群】<br>専門共通科目 | a) 共通基礎科目   |   |
|                 | b) 専門基礎科目   |   |
| 【第Ⅲ群】<br>専門科目   | ——          | 専門科目 (卒業論文を含む)  |

## 工学部で何を学ぶか

工学部では、機械・化学・電気・建築という社会の基盤となる幅広い工学領域の中から自分が選択した専門分野について基本となる知識と、それを実際の社会に役立たせる技術として応用する方法を学びます。これらを通じて、現在の知識基盤社会を中核的に支える専門家となるための素養を十分に身につけるための教育プログラムを準備しています。

優れたエンジニアになるためには、現実の工学的現象を正しく認識する観察力や分析力が必要不可欠ですので、実験・実習・演習などによる課題の解決を図る経験を通じて、これらの素養を十分に養っていきます。また、実社会におけるエンジニアの役割を体感させることも重視し、ものづくりの現場へのインターンシップとしての参加や実社会で活躍している講師による特別講義を受けるなど、社会において果たすべきエンジニアの役割の理解を含む広範な知識を身につけることができる内容となっています。

卒業後は、学んだ専門知識・技術を生かす仕事に就くことはもちろん、専門に関係する幅広い分野で活躍し、さらに新しい得意分野を見つけることもできます。また、大学院へ進んで専門性を高める学生が多いのも特徴です。